

森林環境譲与税の使途事例②：公共施設等の木質化事業

▶ 令和4年度においては、以下の公共施設の木質化を行った。

- ・ 紀北町産ひのき材（すべてFSC認証材）を活用し、道の駅海山修繕工事業、上里集会所整備事業及び町内中学校生徒用機の整備に取り組んだ。
- ・ 地元材のPRになることから今後、地元材の活用や木質化の促進による地元林業の活性化が期待できる。
- ・ 公共施設等の木質化の際は、今後も地元材の活用を積極的に行う。

1 事業内容

- ・ 道の駅海山修繕工事

【事業費】 261千円（全額譲与税）

【実績】 道の駅海山修繕工事の実施

2 事業内容

- ・ 上里集会所の改築に伴う木質化事業

【事業費】 93,764千円（うち譲与税17,161千円）

【実績】 上里集会所建設工事の実施

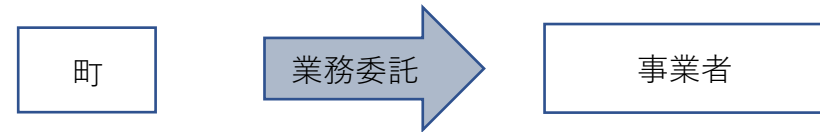
3 事業内容

- ・ 町立中学校生徒用機購入

【事業費】 3,412千円（全額譲与税）

【実績】 生徒用機 95脚

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

- ・ 地元林業の活性化を測るため、紀北町産ひのき材を積極的に活用した。今後も公共施設等木質化の際には地元材の活用を図る。

□ 基礎データ

①令和4年度譲与額	60,626千円
②私有林人口面積（※1）	9,654ha
③林野率（※2）	87.80%
④人口（※3）	14,604人
⑤林業就業者数（※4）	95人

※1※2 : 「2020農林業センサス」より

※3※4 : 「令和2年国勢調査」より